

# 社協のあゆみ40年

法人化40周年記念誌



社会福祉法人 江東区社会福祉協議会

本記念誌は下記クラブの皆様の助成により作成いたしました。誠にありがとうございました。

東京江東ライオンズクラブ 様  
東京江東南ライオンズクラブ 様  
東京深川ライオンズクラブ 様  
東京城東ライオンズクラブ 様  
東京江東中央ライオネスクラブ 様



#### 表紙解説

#### 「深川水かけ祭り」

大田 房子 氏

1953年江東区石島生まれ。授乳時の事故により重い障害を負う。親子のコミュニケーション手段として、絵による対話が始まる。区立扇橋小学校1年生で「危険な水あそび」と題した絵が深川地区で特選に入選。

20歳で朝日新聞の連載記事の挿絵を描き、第1回個展で田崎広助先生に認められる。

21歳より東京都美術館に出展し入選。以後、毎年入選となる。入選作品は昭和54・55・58年、平成4年に海外展に選抜され、日中文化交流の一端を担っている。

その他、フランス展入選、東京タイムズ賞の受賞等の実績をもち、個展の開催も18回を数えるなど精力的に活躍している。

不自由な手で描きあげた絵は、児童会館・女性センター・東砂福祉会館・高齢者総合福祉センター等へも寄贈され、区民の目を楽しませている。

# 目 次



■ 挨 拶	江東区社会福祉協議会会長 室橋 昭	2
■ 祝 辞	江東区議会議長 数藤武司	3
■ 社会福祉協議会40年のあゆみ		4
■ 主な事業 社協がお手伝いできること		8
■ 地域福祉の推進は区民みんなの力で		10
■ 資 料	役員・評議員名簿	12
	組 織	13
	会費・寄付・歳末たすけあい募金の推移	13



# 法人化40周年にあたって



江東区社会福祉協議会会長

室 橋 昭

(江東区長)

江東区社会福祉協議会は、昭和28年3月、区民福祉の増進を目的に任意団体として発足し、その後昭和39年7月に社会福祉法人の認可を受け、地域福祉を推進する使命を持った法人として、ついに40周年を迎えることができました。これもひとえに当協議会の会員をはじめ区民の皆様、町会・自治会、民生・児童委員、保護司の方々や、江東区、江東区議会など様々な機関を含めた暖かいご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

昭和20年代後半、戦後の厳しさがまだまだ残るなか、「歳末たすけあい運動」や「福祉団体に対する援助」、「世帯更生資金貸付」等を活動の中心として発足した江東区社会福祉協議会は、法人化以降、住民主体の地域福祉活動に着手するとともに、身体障害者通所施設等の運営にも取り組み、昭和58年からは、これらを統合した区立の「障害者福祉センター」の管理運営受託を皮切りとして、区立の「老人福祉センター」、「授産施設まつのみ作業所」の管理運営を順次受託するなど、その活動の範囲を大きく広げてまいりました。

そして今日、急激な少子高齢化と家庭や地域機能の低下が危惧される中で、地域の持つ支えあい・たすけあいの機能の復権と、そのしくみづくりが強く求められる時代を迎え、地域福祉の直接的な推進役としての市区町村社会福祉協議会の活動は、ますます重要性を高めているものと認識しております。

江東区社会福祉協議会は、地域福祉推進の使命を銘記し、「誰もが参加し、区民一人ひとりがお互いに支えあい、安心して暮らせる地域づくり」を目標に、これからも役職員一同、皆様とともに歩んでいくよう努めてまいります。これまでのお力添えに改めてお礼申し上げるとともに、更なるご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

# 社会福祉法人40周年を祝して



江東区議会議長

数 藤 武 司

江東区社会福祉協議会が社会福祉法人40周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

社会福祉協議会は、昭和28年3月に、任意団体として区民の福祉増進を目的に発足し、その後昭和39年7月に、当時の厚生省の認可を得て社会福祉法人として今日まで事業を推進してきております。

任意団体の10年を合わせると、半世紀にわたり江東区における地域福祉の中核的団体として、区民の福祉向上にご尽力され、その成果を着実に積み重ねてこられました。

また、その間、江東区でも高い信頼のおける団体として、区の重要な役割を果たしている、障害者福祉センター、老人福祉センターなど福祉施設の管理・運営をお願いして、期待どおりの成果を挙げて頂いております。

これもひとえに、役員・評議員をはじめ会員・ボランティアの皆様の並々ならぬ熱意とご尽力の賜物であり、深く感謝を申し上げるとともに、心より敬意を表す次第でございます。

近年、我が国の社会福祉制度は、少子高齢社会の到来を踏まえ、検討が重ねられ、その中で介護保険や支援費制度が創設されました。

社会福祉のあり方については、今後も引き続き議論が重ねられ、今日の社会経済状況に見合った制度の再構築が行われるものと思いますが、社会福祉を考えるにあたっては、区民一人ひとりに対する細かな施策と住み慣れた地域で安心した生活ができる環境づくりを、基点に据えるべきと考えます。

こうした中にあって、社会福祉協議会は「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として社会福祉法に位置づけられており、その役割は、今後の地域福祉推進には欠くことができない重要な団体であります。

私ども区議会といたしましても、今後の社会福祉協議会の更なる活躍にご期待申し上げるとともに、区民の皆様が安心して暮らせる福祉のまちづくりに努めてまいります。

終わりに、江東区社会福祉協議会の今後益々の発展をご祈念申し上げましてお祝いの言葉といたします。

# 社会福祉協議会40年のあゆみ

昭和28年、任意団体として江東区社会福祉協議会は発足しました。当時の規模は、会費636,490円、事業の中心は「歳末たすけあい運動」「団体援助」「世帯更生資金貸付」等でした。

その後、任意団体としての活動は様々な制約があり、組織としての限界を痛感し、社会福祉法人化へ向けた準備をはじめることとなりました。

そして昭和39年7月、厚生省（現 厚生労働省）から社会福祉法人としての認可を受け、翌40年には江東公会堂にて発会記念式典を挙行いたしました。

昭和41年、法人化以前より関わりのあった肢体不自由児父母の会や、手をつなぐ親の会の熱心な運動により身体障害児通所施設「青い鳥ホーム」を立ち上げるとともに、翌42年に知的障害者通所施設「若竹福祉作業所」の運営にも乗り出しました。

昭和45年11月には、法人化以後の活動が認められ、全国社会福祉協議会会长より「優良社協」としての表彰を受けました。

昭和50年代に入り、区の福祉施策が充実する中で、58年に障害者福祉センターの管理運営を受託しました。翌59年に城東老人福祉センターを、61年に深川老人福

祉センターの管理運営を順次区より受託し、社協の主要な事業となるに至りました。

そして62年にまつのみ作業所の管理を、平成2年に同作業所の運営を受託し、平成4年には亀戸老人福祉センターの管理運営を区より受託し、区立5施設の管理運営にあたることとなりました。

一方、59年より老人福祉センターで実施する「老人大学」を、平成4年に「自悠大学」に改めるなど、ソフト部門の充実も図り、平成8年には江東区福祉公社と合併、ボランティア活動を基本とする「ふれあいサービス」を開始いたしました。

平成10年には、介護用電動ベッドの「福祉機器リサイクル事業」を実施し、平成12年から「ファミリー・サポート事業」を区から受託するなど、福祉環境の変化とともに複雑化するニーズに応えてまいりました。

また平成11年には、社協の使命ともいべき地域福祉活動計画「粹・いきプラン江東」を策定し、きめ細やかな施策の充実に努めています。今、福祉の契約時代を迎え、法人化40周年の節目の年に、この活動計画の見直しを行い、地域福祉の推進に向けて活動を広げています。

暦年	月	江東社協の主な活動・関係事項	月	社会福祉・江東区の動き
28	3	江東区社会福祉協議会、任意団体として発足(千田)		
30	10	世帯更生資金(現 生活福祉資金)貸付事業開始(東社協受託)		
34			4	「国民年金法」公布
38	10	江東社協法人化第1回準備委員会開催	12	歳末たすけあい運動、全国的に開始
39	7	社会福祉法人江東区社会福祉協議会設立認可	7	「母子福祉法(現 母子及び寡婦福祉法)」「老人福祉法」公布
40	5	設立記念式典開催(於 江東公会堂)	10	東京オリンピック開催
41	9	身体障害児通所施設「青い鳥ホーム」開設(住吉2)		
42	3	江東南ライオンズクラブ創立1周年を記念して「青い鳥ホーム」建物1棟の寄贈を受ける		
	9	青い鳥ホーム移転(北砂4)		
	10	知的障害者通所施設「若竹福祉作業所」開設(住吉2)		
43	6	若竹福祉作業所、毛利福祉作業所内へ移転(毛利1)	7	「江東区東砂福祉会館」開設(区内初)
44	8	江東社協法人化5周年記念福祉大会開催(於 江東公会堂)	5	「心身障害児者対策基本法」公布、施行
45	4	若竹福祉作業所が区の事業となり、社協が受託		
	11	全国社会福祉大会に於いて、「優良社協」として全国社会福祉協議会より表彰を受ける		

暦年	月	江東社協の主な活動・関係事項	月	社会福祉・江東区の動き
46	10	青い鳥ホーム年長組「青い鳥ホーム分室」として千田福祉会館に開設		
47	4	若竹福祉作業所の幼児教室「竹の子教室」が千田福祉会館に開設	10	江東区、老人福祉電話、友愛訪問員、老人ヘルパー制度開始
48	6	区役所新庁舎移転に伴い、江東社協も区役所2階へ移転		
49	7	青い鳥ホーム、千田福祉会館に移転	5	江東区、「声の広報」創刊
	7	青い鳥ホーム跡地に「第2青い鳥ホーム」開設	8	「江東区夢の島いこいの家」開館
50	4	敬老はり・灸・マッサージ治療を、区と共催で実施	5	江東区、高齢者に紙おむつ支給開始
51	9	第1回ボランティア教室開講	6	江東区、特別養護老人ホーム「あそか園」開設
52				
53	5	ボランティア相談コーナー(区役所2階区民ホールに毎月第2火曜日)開設	2	財団法人江東区地域振興会設立
	10	第1回手話講座開講	10	第1回江東区民まつり開催
54	4	愛の杖交付開始		
55	6	第1回初級点字講習会開講		
56	4	盲人(視覚障害者)ガイドヘルパー派遣事業開始(区受託)		
	4	手話通訳員派遣事業開始(区受託)		
57	2	第1回心身障害者作品展開催		
58	2	江東区障害者福祉センター開館、管理運営受託		
	5	第1回初級朗読ボランティア講習会開講		
	10	江東区より1億円を借り入れ、ボランティア基金を設置		
	11	江東ボランティア・センター、江東区文化センター1階に開設		
59	5	江東区城東老人福祉センター開館、管理運営受託		
	10	ひとり暮らし老人給食サービス開始(区受託)		
	11	城東老人福祉センターにおいて老人大学開催		
	12	区内外の篤志家5名・団体より1,500,000円の寄付を受け、交通遺児援護基金を設置		
60	5	法人化20周年記念事業を開催し、記念誌「社協の歩み20年」を刊行	2	江東区深川老人福祉センター開館
			10	「江東区あすなろ作業所」開設
61	9	江東区深川老人福祉センター管理運営受託	4	新国民年金制度スタート
	12	伊豆大島三原山噴火被災者見舞金を歳末たすけあい募金により配分	12	江東区平和都市宣言
62	4	亀戸障害者通所授産施設「江東区まつのみ作業所」開設(江東区の補助を受け、社会福祉協議会が管理、江東区肢体不自由児父母の会が運営)	5	「社会福祉士及び介護福祉士法」制定
	5	点訳ボランティア養成事業として、点字講習会及び点訳サービスを実施(区受託)	10	財団法人江東区健康スポーツ公社発足
	6	手話通訳員養成事業として、手話講習会を開催(区受託)	12	区立特別養護老人ホーム「江東ホーム」開設
63			1	「江東ホーム」で高齢者在宅サービスセンターを開設
			4	「江東区第2あすなろ作業所」開設

暦年	月	江東社協の主な活動・関係事項	月	社会福祉・江東区の動き
元	3	亀戸エルナードにおいて、ボランティア活動展を開催	12	「高齢者保健福祉推進10カ年戦略(ゴールドプラン)」策定
	3	老人介護講習会を開催		
	10	「第1回福祉機器展」を障害者福祉センターを会場に開催		
	11	朗読ボランティア養成講習会「実践コース」を設定		
	-	区内障害者通所授産施設に通所している障害者の手作り作品の展示即売会として、障害者作品バザー「手作り市」を開催		
2	5	ハンディキャブ(リフト付ワゴン車)の無料貸出及び運転ボランティアの紹介を行う	6	「老人福祉法等の一部を改正する法律」制定・公布(福祉関係8法改正)
3	11	評議員・協力員合同会議を開催し、社会福祉協力者に対する感謝状の贈呈と講演会を開催	3	財団法人江東区中小企業公社設立
4	5	江東区亀戸老人福祉センター開館、管理運営受託	3	「社会福祉事業法及び社会福祉施設職員退職手当共済法の一部を改正する法律」成立
	9	老人大学を自悠大学と改称し、深川・城東・亀戸各老人福祉センターで開催	4	江東区福祉公社 事業開始
	10	障害者福祉センター10周年を記念してセンターまつりを開催	7	区立として2番目の特別養護老人ホーム「北砂ホーム」開設
5	10	「在宅介護者のつどい」を開催し、日頃家庭で寝たきりのお年寄りを介護している家族の方を観劇へ招待	6	「江東区塩浜福祉プラザ」開設
	-	ボランティア活動の基盤整備と、区民の参加促進及び活性化を図るため、ボランティアのまちづくり推進懇談会を3回開催	7	区立「在宅介護支援センター」を江東ホーム内に開設(区内初)
6			3	「豊かな長寿社会プラン21－江東区高齢者保健福祉計画－」策定
			12	「今後の子育て支援のための施策の基本的方向について(エンゼルプラン)」策定
			12	「高齢者保健福祉推進10カ年戦略の見直しについて(新ゴールドプラン)」策定
7	4	障害者福祉センター 第2育成室を閉鎖し、第3作業訓練室(知的障害者生活訓練)を開設	5	「精神保健法の一部を改正する法律」公布
	7	ホームヘルパー養成講座(3級・2級)を開催(区受託)	6	区立として3番目の特別養護老人ホーム「塩浜ホーム」開設
	12	高齢者総合福祉センター開所に伴い、社会福祉協議会事務局及びボランティア・センター移転	11	「高齢者社会対策基本法」成立
8	4	江東区福祉公社と合併し、有償家事援助・介護サービス事業の「ふれあいサービス」を実施	12	「障害者プラン－ノーマライゼーション7カ年戦略－」決定
	4	江東区深川老人福祉センター 森下分館開館、管理運営受託	7	「高齢社会対策大綱」閣議決定
9	-	地域福祉活動を総合的かつ計画的に推進する計画策定のため、策定委員会を3回、作業部会を11回開催	3	江東区誕生50年
			3	「江東区児童福祉計画－未来をひらく子どもプラン21－」策定
			4	「江東区東砂福祉プラザ」開設
			4	「江東区第3あすなろ作業所」開設
			6	「児童福祉法等の一部を改正する法律」公布
			12	「介護保険法」国会で可決成立
10	4	江東区亀戸福祉作業所、管理運営受託	3	「特定非営利活動促進法(NPO法)」成立
	4	リサイクル介護用電動ベッド貸出事業実施	6	「社会福祉基礎構造改革について」(中間まとめ)公表
	4	財産保全サービスを実施		

暦年	月	江東社協の主な活動・関係事項	月	社会福祉・江東区の動き
	6	江東区地域福祉活動計画策定について、「住民懇談会」を区内4カ所で開催		
	7	江東区地域福祉活動計画策定について、区内障害者団体と意見交換の懇談会を開催		
	10	江東区地域福祉活動計画中間のまとめについて、「住民説明会」を開催		
	11	評議員・協力員合同会議を「福祉のつどい」と改めて開催		
11	3	江東区地域福祉活動計画「粹・いきプラン江東」策定	6	「江東区子ども家庭支援センター」開設
	10	地域福祉権利擁護事業を実施(東社協受託)	8	都立城東高校が甲子園に初出場
12	3	災害援助活動事業として、一般区民を対象に「阪神・淡路大震災に学ぶ講演会」を開催	12	「民法の一部を改正する法律」等(成年後見制度の改正)成立
	3	点訳ボランティア養成事業の区受託終了	2	「社会福祉法人会計基準」制定
	4	ファミリー・サポート事業を実施(区受託)	4	「介護保険法」施行
	6	社協の会員あてに「事業のあらまし」を作成	5	「児童虐待の防止等に関する法律」成立
	11	三宅島からの避難者支援を行う	6	「社会福祉事業法等の一部を改正する等の法律(社会福祉法)」施行
			6	「福祉サービスの第三者評価に関する中間まとめ」作成
			6	「身体障害者福祉法」一部改正(平成15年4月1日より措置費から支援費に移行)
13	3	江東区亀戸福祉作業所管理運営の区受託終了	1	厚生省、労働省を再編し「厚生労働省」発足
	6	江東区障害者地域自立生活支援センターの開設(区受託)	9	「江東区マンション建設急増対策本部」設置
	12	江東ボランティアまつり「わをつくろう しりあい ふれあい たすけあい」を開催	11	「児童福祉法の一部を改正する法律」成立
14	1	「ふれあい・いきいきサロン」活動支援事業開始	12	「離職者支援資金制度」創設
	2	シニアボランティアによるシニアのためのボランティア講習会を開催	8	「ホームレスの自立の支援に関する特別措置法」施行
	3	ボランティア基金・交通遺児援護基金の廃止	9	「少子化対策プラスワン－少子化対策の一層の充実に関する提案」公表
	3	離職者支援資金開始(東社協受託)	10	「構造改革特別区域法」成立
	3	ホームヘルパー養成講座の区受託終了	8	江東区の人口が40万人を超える
	6	ふれあいサービスの事業に、一般区民向け生活支援「一時支援サービス」開始	12	「障害者基本計画」策定
15	3	視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業の区受託終了	4	「支援費制度」施行
			4	「市町村地域福祉計画」「都道府県地域福祉支援計画」施行
			4	生活福祉資金制度に「長期生活支援資金」、「緊急小口資金」設置
			4	「江東区亀戸福祉園」開設
16	7	法人化40周年を迎える	4	「児童虐待の防止等に関する法律の一部を改正する法律」成立
			6	「障害者基本法の一部を改正する法律」成立
			6	「国民年金法の一部を改正する法律」成立

※参考 「社会福祉協議会活動論」全社協、「江東区年表 下巻」「江東区のあゆみ」

# 主な事業 社協がお手伝いできること

ふ

## れあい・いきいきサロン活動の支援

ふれあい・いきいきサロンは、地域で孤立しがちな高齢者・障害者・子育て中の親子を囲んで、地域の方々が共同で活動を企画・運営し、仲間づくりをすすめる交流の場です。



▲母と子のヨガ教室

日

## 日常生活にお困りの方へ

### ●ふれあいサービス (自立支援サービス)

おおむね60歳以上の高齢者や障害のある方の家事援助・介護サービスを行います。

#### (一時支援サービス)

病気やけが、産前産後のときなど、一時的に家事・介護援助が必要と思われる方のお手伝いをします。

#### (ランドリーサービス)

区内の病院などに入院中で、支援者が得られず、洗濯にお困りの方のお手伝いをします。



▲新協力会員研修会（ふれあいサービス）

### ●地域福祉権利擁護事業

日常生活上の判断に不安のある高齢者、知的・精神障害のある方が安心して生活が送れるようにお手伝いをします。

### ●応急小口福祉資金

病気や災害などで急に資金が必要となった方へ貸付けます。

### ●生活福祉資金

金融機関や公的貸付制度からの借入が難しい方へ貸付けます。



地

## 域での子育てを応援

### ●ファミリー・サポート

協力会員（区民で、育児の手助けができる方）が、お子さんのいる家庭を支援します。  
保育園・幼稚園の送迎、一時預かり など



▲交流会（ファミリー・サポート）

### ●子育て支援

育児の不安・ストレスの解消を目的として、地域のボランティア・関係機関と連携をとり、子育てひろばやふれあい遊び等を実施します。



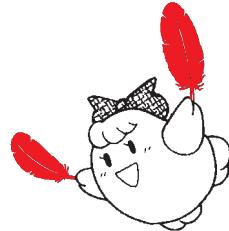
## 募 金運動

町会・自治会、民生・児童委員協議会等の団体や、個人のご協力をいただき実施しています。

### ●赤い羽根共同募金運動（10月1日～10月末）

この募金は東京都共同募金会を通じて地域のさまざまな福祉活動に役立たせています。

江東区社会福祉協議会は、深川地区・城東地区の事務局となっています。



### ●歳末たすけあい募金運動（12月1日～12月末）

この募金はすべて江東区内のさまざまな地域福祉活動に使わせていただけています。

## ボ ランティア活動の応援

### ●ボランティア・センター

ボランティアに関する疑問や、活動の相談はボランティア・センターがお手伝いします。



▲ボランティアまつり

## 福 祉機器の貸出しなど

### ●車いす

### ●リサイクル介護用電動ベッド

### ●杖の無料配付

### ●ハンディキャブ (リフト付きワゴン車)



▲ハンディキャブ体験（区民まつりにて）

## 施 設の運営

### ●障害者福祉センター

扇橋3-7-2 ☎(3699)0316

【障害者地域自立生活支援センター】

扇橋3-7-2 ☎(3699)0325

### ●まつのみ作業所

亀戸9-6-29 ☎(3681)6008

### ●深川老人福祉センター

平野1-2-3 ☎(3643)1902

【森下分館】

森下5-11-1 ☎(5624)6030

### ●城東老人福祉センター

北砂4-20-12 ☎(3640)8651

### ●亀戸老人福祉センター

亀戸9-33-2-101 ☎(5609)8822



# 地域福祉の推進は区民みんなの力で

## ボランティア・センター

江東ボランティア連絡会 会長 村井早苗

法人化40周年おめでとうございます。

江東ボランティア連絡会も今年で4年になりますが、設立の際にには多大なお力添えをいただき誠にありがとうございました。

また40年の歩みの中で数多くのボランティアの育成や自立までの支援、私たちの今日があるのは社会福祉協議会はもとより、ボランティア・センターのお陰と思っております。

近年におきましてはボランティア活動の為の環境整備や活動先との連携し協力し合う為の議論を重ね基盤強化に努めていただきました。たとえば、区内の小中学校における総合学習への参加協力などは、教育委員会・学校・ボランティアとの話し合いの結果、大きな成果を上げることが出来たと言えるでしょう。

今後は互いの「技術」「知力」を活かし協働しながら市民のニーズに対応し、地域福祉の担い手としての社会福祉協議会に期待したいと思います。



## ふれあいサービス

協力会員 小櫃チヨ子

利用会員の佐藤さんは、現在89歳。一人暮らしで週1回ふれあいサービスの家事援助を利用しています。私は、毎週月曜日に訪問して、掃除の活動をしています。活動の開始は平成10年にさかのぼります。当時、身の回りの掃除が負担になっていた佐藤さんがふれあいサービスに連絡。依頼を受けた私は、何か社会的な活動をしたいとさまざまボランティアに参加しているところでした。活動をはじめたところ、お互いに短歌とカラオケという共通の趣味があることが分かり、ばっちりと意気投合。「気が合うから、離れないようにつかまえているのよ。これからも元気に楽しくがんばっていきたいわ」とは佐藤さんの弁。最近、足の具合がよくないのが心配ですが、佐藤さんには長生きしてほしいです。最後に佐藤さん作の短歌をご紹介します。佐藤さんの誕生日にちょっとしたお祝いをしてさしあげたことに感動して、この歌を詠んでくださいました。

誕生日祝いてくれし 我が友よ  
たのしき食事 心にしみる



## ファミリー・サポート

利用会員 佐藤雅美

「子どもが預ける時に泣く」という話は、ときどき耳にします。けれど、わが娘（ひなた）の場合は、「親が迎えに行くと怒り出して泣く」のです。それもこれも、田村さんご一家を本当の家族のように感じているから。田村さんのお宅の優しいお姉ちゃん、お兄ちゃんたちが大好きだからなのです。

仕事が終わり、やっと我が子の顔が見られると喜んで迎えにいくと、ひなたはお姉ちゃんや田村さんのひざに乗ってもう離れません。そのあまりの頑固ぶりに田村さんが、「では、サポートは終わりにして、いまからプライベートで遊びに来たことにしましょう」とおっしゃってくださることもしばしば……。

思えば、ひなたは生後7ヶ月の頃からお世話になっているのです。「歯が生えてきましたよ」、「上手に歩けるようになりましたよね」、「もうたくさんおしゃべりできたのね」……ひなたの成長を、ご一家は一緒に見守ってくださってきたわけです。

最初の出会いから、もう1年半以上。ちょっとした育児の悩みや疑問にも、大らかに答えてくださった田村さん。これからも、たくさんたくさん、お世話になることだと思いますが、どうぞよろしくお願いします！



## ふれあい・いきいきサロン

生き生きクラブ 桜井 善

当時70歳だった村井由郎さんと二人で「折り込み都々逸」や「川柳」などを作っては投稿していました。あるとき新聞の読者欄に江東区の町田さんという方のサロン活動が掲載されました。それがきっかけで福祉協議会の推進するサロンを立ち上げました。

それは、去年の7月29日でした。「お年寄りに健康で生きがいある人生」とスローガンに掲げる福祉協議会の皆さんの指導を受けながら地道にメンバーを増やして現在9名になりました。高齢者の一人暮らしの方は、話す事に飢えているせいか、お話を聞くだけで「元気が出て月に一回の定例会が待ち遠しい」といいます。短歌を主に話の中心にしています。山本貞子さんは、作歌経験が長く、添削していただき投稿したのが掲載されると「自分の事より嬉しい」と言つてくれます。2月のふれあい・いきいきサロン全国サミットでは、江東区も他地区に負けないぞと決意しました。



## 障害者福祉センター

「江東音訳サービス」 一樹会 内海京子

「社協」法人化40周年を深い感慨をもってお祝い申し上げます。

目の代わりをする朗読（現音訳）勉強会が当区にも誕生という事で江東区盲人福祉協会からのお声掛けがあり、御指導のもと障セんの声の広報発送に加わりました。3階録音室での必死のテープ収録や発送のお手伝いに通う中で、障セんを利用し一生懸命かつ明るく活動している人々に接し多くのことを学びました。

やがてもちつき大会・クリスマス会・おもちゃ図書館や体操教室の開室と職員さんの熱い思いも伝わる企画のお手伝い、後続の音訳勉強会も発足、カラオケ・卓球教室等々利用者の活動力と笑顔と共にボランティアとして参加しています。このような社協との20余年間を振り返り、その事業（の一部）を通して地域住民間で互いの不自由さを支え合う必要性を実感し、共生の心が皆の中に自然と培われていることを大変心強く思っております。

## 深川老人福祉センター

電話相談員 卷島波江

社会福祉協議会40周年おめでとうございます。

私達の電話相談室は、城東が昭和59年5月10日・深川が昭和60年2月4日からの開設と聞いています。私は平成6年から相談員になったのですが、週に一度の相談日がすっかり私の生活のベースになっています。

一方的なこちらからの電話に、初めはとまどわっていた方達も、今では待っている方が多くなっています。電話に出た時の声の調子で体調の悪いことが分かったり、その日初めて声を出したという方がいたり、お相手をしているうちに相手の方の声に張りが出て来ますので、私達は“ホッ”とします。

都内他区の福祉についての事業のことはよく知りませんが、電話訪問事業は江東区の福祉関連の中でも、胸を張れることではないでしょうか。高齢者が増えている現在、一人住まいの方が多くなっていて、外出も儘ならない方達にとって、私達の存在は大きいのではないかでしょうか。相談員同士の親睦をはかりながら精一杯の努力をしてまいります。

江東点字サークル 「ともしび」 藤井康正

江東区社会福祉協議会の社会福祉法人化40周年おめでとうございます。

私ども江東点字サークル「ともしび」は、1981年（昭和56年）の国際障害者年に発足しました。

発足当時は現在ほどボランティア活動は活発ではありませんでしたが、障害者の社会参加と平等をテーマに福祉協議会も様々なボランティア発掘のための各種講習会が開かれています。

昭和60年代後半まで「ともしび」以外点字サークルはなく、福祉協議会がかかる行事に積極的に参加し、当初の江東区民まつりに数年来ボランティアコーナーで点字の仕組み等を分かりやすくパネル表示し、まつりの来場者に点字のPRをしたり…。

また亀戸駅のエルナード6階広場での点字の公開講座、区立深川六中のクラブ活動の一環として点字指導の依頼があり週1回3ヶ月ほど生徒達に教えに行つたこと。今はやっていませんが、福祉協議会の点字講習会には10年ほど講師をし微力ながら点字の普及に努めてまいりました。今は扇橋の障害者福祉センターで点訳サービスに携わっています。

これからも江東区社会福祉協議会のますますの御発展をお祈りいたしております。

## 城東老人福祉センター

電話相談員 山崎しづ枝

社協40周年おめでとうございます。

昭和59年7月江東区長より電話相談員としての委嘱を受けまして20年になります。当時、電話訪問には各分野、社会教育登録団体、民生・児童委員、カウンセラー、朗読グループの方々約40名が携わったと思います。対象者数は286名、センター側の職員さん共々全員が手探り状態で何回かのディスカッションを重ね、ひとつの輪になって発足した状況でした。対象者には、あくまで福祉電話、安否の確認、孤独感の解消を趣旨とする・問題の起きた場合は連絡票を事務所に提出、区役所のパイプ役に徹する・対象者との直接の面接はしないと決められています。初めての対象者との対話は、趣旨説明から始まり、体の状態、お話の内容は外部に漏らさない等々をお伝えします。人生の大先輩であり、教えられることもあります。あれから色々な制度も増えて、介護保険の導入、今年からは孤独な高齢者対象の「ほほえみネットワーク」も発足、地域の連帯の重要性も認識されてきました。福祉外のサービスを必要としている対象者にも、門戸を広げることも大事ではないかと痛感致しております。

# 資料

## 役員・評議員名簿

### 役 員

任期 平成14年12月16日～平成16年12月15日

役職名	氏 名	選出区分
会長	室橋 昭	区長
副会長	武田 茂治	町会連合会
"	大野 良瑞	富岡地区連合町会
"	浅野 繁	民生・児童委員協議会
"	坂本 福子	"
常務理事	須田 雅美	社会福祉協議会事務局
理事	外山 寛穂	保護司会
"	鈴木 武	東陽地区連合町会
"	平井 康義	区議会厚生委員会
"	夏梅 照子	手をつなぐ親の会
"	武田 幸子	更生保護女性会
"	品田 礼子	江東ボランティア連絡会
"	齋藤 あや	民生・児童委員協議会
"	布能 民雄	東京商工会議所江東支部
"	秋山 邦彦	助 役
監事	酒井 安應	亀戸町会連合会
"	宮山 藤男	社会福祉法人あそか会

### 評 員

任期 平成14年10月28日～平成16年10月27日

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
斎藤 慶司	白河管内連合町会	松本 昌郎	江東区医師会
横川 晴	"	河谷 興隆	深川歯科医師会
三神 輝男	富岡地区連合町会	賊部 洋	城東歯科医師会
細野 昌宏	豊洲地区町会自治会連合会	中山 右一	薬剤師会深川支部
金澤 利夫	"	高橋 秀徳	薬剤師会城東支部
加藤 守宏	小松橋地区連合町会	高橋 久子	身体障害者福祉団体連合会
平野 貞一	東陽地区連合町会	野村 淳子	手をつなぐ親の会
酒井 幸江	亀戸町会連合会	伊藤 嘉代子	老人クラブ連合会
中村 政夫	大島町会連合会	佐々木 祐生	公私立保育園園長会
中島 政幸	大島地区自治会連合会	荒井 一晃	青少年委員会
儘田 二郎	砂町連合町会	高橋 健一郎	少年団体連絡協議会
清水 春吾	"	田中 京子	消費者団体連絡協議会
小松崎 洋子	民生・児童委員協議会	佐藤 勝美	商店街連合会
伊藤 敏子	"	吉田 智子	特別養護老人ホーム
川野 堂子	"	芳賀 浩二	"
春谷 竹雄	"	羽石 芳恵	介護支援専門員協議会
鹿取 幸一	"	本間 恵	NPO団体
店橋 作司	"	平原 宏子	"
伊勢 松男	保護司会	市川 薫	江東ボランティア連絡会
岩瀬 源	"	新島 恒雄	区議会厚生委員会

### 役 員

任期 平成16年12月16日～平成18年12月15日

役職名	氏 名	選出区分
理事	室橋 昭	区長
"	武田 茂治	町会連合会
"	大野 良瑞	富岡地区連合町会
"	未定	民生・児童委員協議会
"	"	"
"	須田 雅美	社会福祉協議会事務局
"	外山 寛穂	保護司会
"	鈴木 武	東陽地区連合町会
"	平井 康義	区議会厚生委員会
"	夏梅 照子	手をつなぐ親の会
"	諏訪 豊子	更生保護女性会
"	村井 早苗	江東ボランティア連絡会
"	未定	民生・児童委員協議会
"	伊藤 貴造	東京商工会議所江東支部
"	秋山 邦彦	助 役
監事	酒井 安應	亀戸町会連合会
"	未定	社会福祉法人あそか会

### 評 員

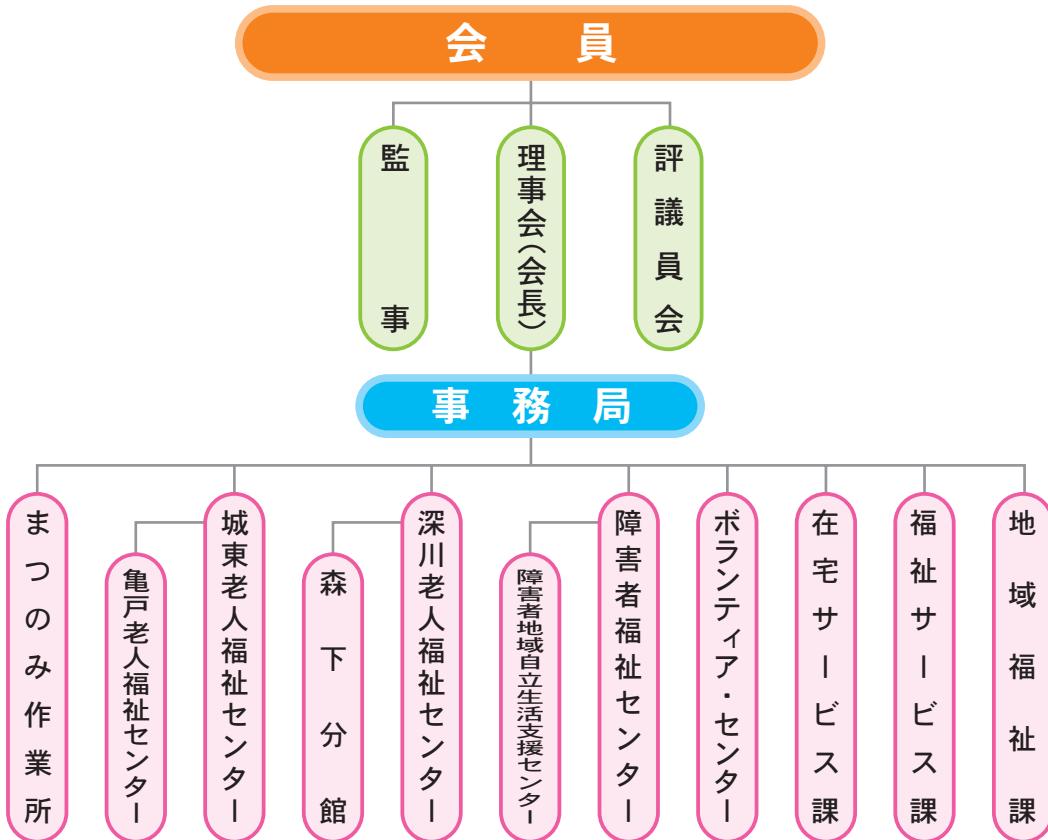
任期 平成16年10月28日～平成18年10月27日

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
斎藤 慶司	白河管内連合町会	斎藤 正人	江東区医師会
林 醇二	"	河谷 興隆	深川歯科医師会
三神 輝男	富岡地区連合町会	小林 俊春	城東歯科医師会
高久 基兆	豊洲地区町会自治会連合会	中山 右一	薬剤師会江東区支部
細野 昌宏	"	高橋 久子	身体障害者福祉団体連合会
加藤 守宏	小松橋地区連合町会	野村 淳子	手をつなぐ親の会
平野 貞一	東陽地区連合町会	千野 泰太郎	老人クラブ連合会
酒井 幸江	亀戸町会連合会	佐々木 祐生	公私立保育園園長会
中村 政夫	大島町会連合会	川崎 重武	青少年委員会
中島 政幸	大島地区自治会連合会	内山 誠	少年団体連絡協議会
清水 春吾	砂町連合町会	三宅 幸子	消費者団体連絡協議会
加藤 益雄	"	唐川 和夫	商店街連合会
欠員	民生・児童委員協議会	芳賀 浩二	特別養護老人ホーム
"	"	多川 斎	"
"	"	羽石 芳恵	介護支援専門員協議会
"	"	佐々木 尚雄	介護事業者連絡会
"	"	本間 恵	NPO団体
伊勢 松男	保護司会	石井 直美	"
岩瀬 源	"	川端 エイ子	江東ボランティア連絡会
		新島 恒雄	区議会厚生委員会

※未定の役員については12月27日開催の評議員会で選任予定  
※役職については12月27日開催の理事会で互選予定

※欠員の評議員については12月27日開催の理事会で選任予定

## 組 織 図



## 会費・寄付・歳末たすけあい募金の推移

	会費	寄付金	歳末たすけあい募金
39年度	636,490	1,570,149	3,487,750
44年度	3,652,245	2,976,506	6,209,766
49年度	5,041,590	6,969,582	12,033,710
54年度	6,801,500	7,132,668	16,335,108
59年度	8,364,120	15,025,168	21,005,054
元年度	9,063,600	19,757,535	24,771,904
5 年度	9,991,560	26,430,982	33,414,370
10年度	9,711,503	24,359,144	28,151,875
11年度	9,765,760	24,275,774	31,792,398
12年度	9,977,030	24,137,306	24,969,049
13年度	9,935,480	21,013,364	25,680,883
14年度	9,893,290	203,408,242	23,943,201
15年度	9,557,780	14,480,190	23,704,427



【交通案内】

● 東京メトロ東西線

[木場駅] 1番出口から徒歩12分

[東陽町駅] 1番出口から徒歩15分

● 都営バス

JR総武線 [錦糸町駅] 南口下車

[錦13甲] 深川車庫行き [東陽6丁目] 下車1分

[錦13乙] 晴海埠頭行き [東陽6丁目] 下車1分

## 社会福祉法人 江東区社会福祉協議会

〒135-0016 江東区東陽6-2-17 高齢者総合福祉センター2F

■ 地域福祉課 TEL (3647) 1895 FAX (5683) 1570

■ 福祉サービス課 TEL (3647) 1898 FAX (5683) 1570

■ 在宅サービス課 TEL (5683) 1571 FAX (5683) 1570

■ ボランティアセンター TEL (3645) 4087 FAX (3699) 6266

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/koto-shakyo/>

社会福祉法人化40周年記念誌

# 社協のあゆみ40年

平成16年11月

発行者 室橋 昭

発行所 社会福祉法人 江東区社会福祉協議会

〒135-0016 東京都江東区東陽6-2-17

☎03(3647)1895

印刷所 大新舎印刷株式会社

〒135-0052 東京都江東区潮見2-4-16

☎03(3646)6456(代)